

テーマ「海 洋 ゴ ミ」

日 時:2019 年 9 月 13 日(金)13:30~19:00

会 場 :日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階 (121会議室) 意見交換会(カフェテリア)
(最寄り駅:JR 御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅)

参加費 :講習会 正会員 3,000 円、学生会員 1,000 円、非会員((一般)4,000 円 (学生)2,000 円)
意見交換会 3,000 円

申込方法 :所属、氏名、会員種別、連絡先(TEL, E-mail)、講習会及び意見交換会の参加の有無を記載の上、メール(info@jaczs.com)にてお申込下さい。(9月11日(水)締切延長!!)

【講習会の目的】

SDGsの14「海の豊かさを守ろう」では、海洋と沿岸の生態系を持続可能な形で管理することを目指しています。しかし、人間活動に起因する海洋汚染は危険な水準に達しており、海洋1km²あたりで平均1万個以上のプラスチックごみが見つかっており、生態系への影響が懸念されています。日本でも、コンビニのレジ袋の有料化義務付けや、外食産業におけるプラスチック製ストローの使用取りやめといった動きが出ており、産業界への影響も予想されます。このように多方面に影響を与える海洋ごみ問題について、様々な分野の知識を有する講師によって話題提供いただいた上で、解決に向けた取り組みについてディスカッションを行い、社会人および学生達の見識を深めることを本講習会の目的とします。

講習会プログラム:

13:30-15:30 開会あいさつ 趣旨説明

企画運営委員:村野昭人(東洋大学教授)

【第1部:話題提供】

①『日本周辺の沖合域の漂流ごみの現状について』

講師:内田 圭一(東京海洋大学准教授)

②『海岸漂着ごみの現状について』

講師:山口 晴幸(防衛大学校名誉教授)

③『海洋プラスチックごみ問題に対する取組について』

講師:安陪 達哉(環境省水・大気環境局 水環境課 海洋環境室 室長補佐)

④『漁業におけるプラスチック資源循環問題に対する今後の取組』

講師:山本 隆久(水産庁増殖推進部漁場資源課海洋保全班 課長補佐)

15:30-15:40 <<休憩>>

15:45-17:15 【第2部:パネルディスカッション】

コーディネーター:村野昭人 教授

パネリスト: 内田 圭一 准教授

山口 晴幸 名誉教授

安陪 達哉 室長補佐

山本 隆久 課長補佐

17:30-19:00 意見交換会 (会場:1号館2階 カフェテリア)

